

新入生の皆さんへ

新入生 鶴崎敏博

法学部学生 鶴崎敏博

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんのほとんどが、漠然とした期待と不安で今日を迎えられたと思います。さて、広大での学生生活をとおしてその期待と不安がどのように感動や失望に変わるのでしょうか。個人的には、偶然3年早く、皆さんより広大に入学していただけて、別に皆さんより偉くもなんともありません。ということで、皆さんを迎える言葉として、自分個人のこの3年間に考えたこと、行動したことを書いて、少しでも皆さんのこれからに参考になればいいと思いますので、以下そうします。

入学した時点では、周りに居た人達の中で「もっと偏差値の高い大学に行きたかった。」と思っていた人が沢山いました。自分はいい加減な性格のおかげでしょう。瀬戸際でやっと本気で勉強を始め、共通一次で驚異的な得点。受けた大学全部受かって、どこでもいいけど広大でもいい、ということで、何も広大入学に対する不満もなければ、満足もありませんでした。3年経った現在、広大入学に不満を持っている人は皆無ではないでしょうか。要は、入試制度が造り出した偏差値という価値観を抵抗しながらも受け入れた皆さんが、今度は、自分自身で、自己の考えで、広大で学ぶことの意義を意識することが出来るかどうかという問題ではないかと思います。入学当初は、別にやりたいこともなくブローミみたいなことをしていましたが、あるきっかけで単車で旅行に出でみたら、これが結構面白く、現在までバイクツーリングに凝っています。いつでも、思い立ったら、用具を積んで、ツーリングに出ます。朝、シュラフの中で目を覚まし、朝食を食べて、テントを畳んで、行き

たい方向に出発します。目的地は別にありません。その土地の美味しい物を食べて、適当に宿泊地を定め、同じようなことをしている人達と、夕食を食べながら、沢山お酒を飲んで、いい気持ちになって、テントで星を見ながら（酔っているから星が動く）寝ます。こんなことを長い時は一か月ほど続けます。何が楽しいんでしょうかね。自分では、すべてのことを自分で判断し、行動し、そしてすべての責任が自分にあるところだと思っています。単車をとおしていろいろ考えました。「時は流されるのではなく、刻むものだ。いかに時間を少なく刻むかで、自分が計られる。」などと、ない教養と頭で考えるわけですが、ただすべてのことを自分の納得する言葉で表したいだけなのです。また、自分は「人と同じ。」というのが嫌いです。心の底に優越感みたいな物があるのかもしれませんが。しかし、「自分は自分であり続けたい。」と思うたびに、自分が何者か分からなくなります。近代市民社会から、大衆社会へと変貌し、さらに分衆の社会へと変化しようとしている現在、自分だけはしっかりと見ていきたいですね。ちなみに自分は自分が一番カワイイ。

それから、「行動の一つ一つに目的を持った方がいいと思います。それも外部から与えられるのではなく、自分で定めることで、本当にやりたいことが見えて来ると思います。以上、筋の通らないくだらないことを書きましたが、少しでも参考になる部分があったらいいと思います。在校生の一人として皆さん一人一人を快く歓迎します。それでは、今後皆さんの御活躍と大学生活の充実をお祈りいたします。